

海外市場の開拓に取り組む日本酒製造業

高まる日本酒の国際的評価

2023年の日本酒の輸出金額は410.8億円と、過去最高となった昨年に次ぐ高水準となりました。また、輸出単価は1,417円/Lと、上昇基調が続いており、国際的な評価が着実に高まっています(図表1)。

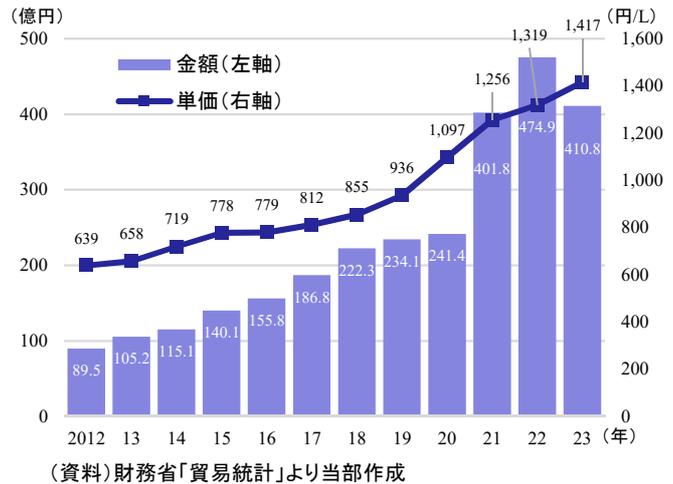
ただし、各国のアルコール市場に占める日本酒のシェアは、最大の輸出先である中国で0.02%、米国においても0.2%にとどまっています。今後の市場拡大の余地は大きいとみられることから、政府は2025年の輸出額目標を600億円に設定し、各種施策を通じて事業者を支援していく方針です。

期待されるブランディングの強化

日本酒製造業は中小零細規模の酒蔵が多いため、事業者単体での海外展開には限界があります。そこで、政府や各自治体は、販路開拓や認知度向上、高付加価値化などに向けた支援を継続するとともに、ロビー活動を通じて、輸出障壁の撤廃等に向けた働きかけを強化しています(図表2)。

因みに、2022年度の広島県の日本酒生産量の全国シェアは1.8%(第14位)ですが、G7サミットが開催された2023年の輸出金額は3.2億円に大きく増加しています(図表3)。引き続き、販路開拓ならびに認知度向上に取り組むとともに、輸出単価の引き上げに向けた「広島の酒」のブランディングの強化が期待されます(図表3)。

図表1 わが国の日本酒輸出金額・単価の推移

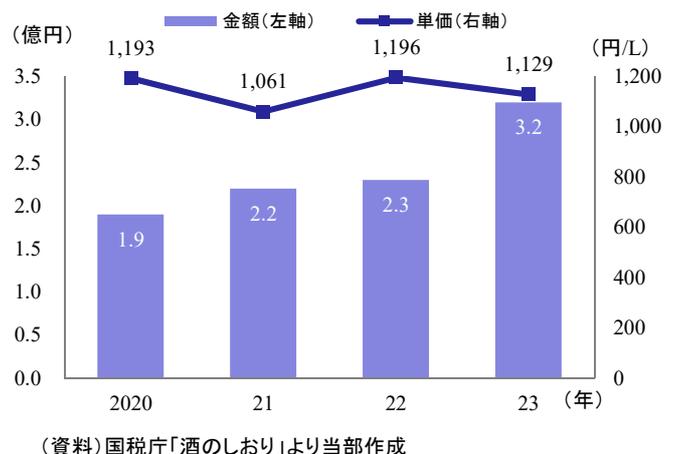


図表2 日本酒の輸出強化に向けた支援策

	具体的な支援策
販路開拓	<ul style="list-style-type: none"> 海外展示商談会への出展支援 現地に日本酒のアンテナショップを常設
認知度向上	<ul style="list-style-type: none"> 現地インフルエンサーによる情報発信 現地スーパー等での試飲会の開催
高付加価値化	<ul style="list-style-type: none"> 各国の趣向に合わせた酒造り支援 製造工程紹介によるブランディング支援
ロビー活動	<ul style="list-style-type: none"> 日本酒(瓶)のEU包装規制からの除外

(資料)各種資料より当部作成

図表3 広島県の日本酒輸出金額・単価の推移



- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：片山 (TEL080-8985-3991) までお願いします。